

日本老年学的評価研究（JAGES：Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。（JAGESの概要につきましてはホームページ [https://www.jages.net/about\\_jages/](https://www.jages.net/about_jages/) をご覧ください）

なお今回のプレス発表会につきましても前回と同様「Zoom」を用いてのweb開催とさせて頂き、当日の参加方法等に関しましては、お申し込み後に詳細をご案内いたします。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

## 記

1. 開催日時 2023年6月23日（金）12:00～13:00（予定）
2. 場所 「Zoom」（オンラインミーティングアプリ）を用いてのweb開催となります
3. 内容

- ① 374-23-6（齋藤孔良）  
フレイル高齢者はインフルエンザに1.4倍かかりやすく、3.2倍重症化しやすい  
高齢男性は高齢女性に比べ1.7倍インフルエンザが重症化しやすい
- ② 375-23-7（井手一茂）  
介護予防事業の効果評価を実施するには？  
～JAGES 通いの場ワーキンググループで整理したロジックモデルの一例～
- ③ 376-23-8（井手一茂）  
種類別の社会参加頻度の介護予防効果は！？  
～スポーツ・趣味の会は参加頻度が高いと14～24%要介護リスク減少 町内会は参加頻度低めでも10%要介護リスク減少～
- ④ 377-23-9（井手一茂）  
幸せの市区町村格差は1.5～3.7倍 幸せなまちづくりには社会参加が重要  
～スポーツ・趣味の会などの社会参加割合が10%ポイント高いと幸せ割合が3～5%ポイント高い～
- ⑤ 379-23-11（飯塚玄明）  
社会参加により社会的サポートが育まれる  
～参加するグループの数が1, 2, 3種類と増えると、社会的サポートは1.3, 1.5, 1.7倍育まれる～

※下記⑥に関しましては共同研究に関する紹介および研究発表となります。

- ⑥ 378-23-10（熊澤大輔）  
千葉大学予防医学センターとパンフィックコンサルタンツ株式会社の共同研究成果  
「健康支援型」道の駅利用で健康に！  
～道の駅利用者で主観的健康感不良者が約33%減少～

4. **発表者** 代表 近藤 克則 一般社団法人日本老年学的評価研究 (JAGES) 機構 代表理事  
(発表順) 千葉大学 予防医学センター 教授  
国立長寿医療研究センター  
老年学・社会科学研究センター  
老年学・評価研究部 部長  
齋藤 孔良 新潟大学医歯学総合研究科 助教  
井手 一茂 千葉大学予防医学センター 特任助教  
飯塚 玄明 千葉大学予防医学センター 技術補佐員  
熊澤 大輔 千葉大学予防医学センター 特任研究員

## 5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ（下記URL）の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】[https://www.jages.net/about\\_jages/press/participation/](https://www.jages.net/about_jages/press/participation/)

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> [press.ml@jages.net](mailto:press.ml@jages.net)